



2005年1月1日

# セカンドハンド通信 NO.39

NPO法人セカンドハンド 本部事務局 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18  
TEL&FAX 087-861-9928 発行責任者・新田恭子  
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://www.eskimo.com/~2nd-hand/



## がんばれ！小指会 セカンドハンド学生部

### 中学校建設支援結実

目標金額の1万ドルが集まり、無事カンボジアに届けることが出来ました！ご協力くださいました皆様ありがとうございます！！

小指会は2003年の5月にセカンドハンドの学生部として発足し、中学・高校生が主体で活動してきました。昨年4月にプノンペン市郊外のSen Sok中学校建設支援を行うことを決定し、初めての大きな目標に取り組みました。小指会のメンバーだけでなく、活動に賛同した学生が学校の文化祭でチャリティーバザー、展示を行ったり、募金に取り組むなど活動の輪は次第に広がり、香川県内の多くの学生がこのプロジェクトに関わりました。

小指会のバザーでは会場を借りるための交渉や書類の作成、マスコミの取材対応など、初めての経験も多く、楽しさとともに難しさもあり、壁にぶつかることも多々ありました。サポートとして支える大学生や大人のアドバイスをもらいながら頑張った約半年。学校や年代を越えて人とかかわることで多くのことを学んだ半年でもありました。

12月、セカンドハンド代表がカンボジアに支援先との調整のため訪問した際、完成した中学校の視察に行ってきました。校長先生から「日本の皆さんに大変感謝していることを伝えて欲しい。できるだけ多くの学生を連れてきて」とメッセージを預かってきました。10月から新校舎に通っている生徒たちからは「私も友だちも皆学校に行けるようになってすごく嬉しい！」「皆に会いたい！」などと書かれた150通もの感謝の手紙が届きました。

12月5日(日)本部で開催した視察報告会で、小指会のメンバーは「本当に学校を建てられたなんて…」「心



身ともに大変だった時もあったけど、終わってみればよかったと思う」と達成した充実感と自信に満ちた様子でした。

校長先生からの「頑張っているが貧困のため勉強を続けられない生徒たちをサポートして欲しい」というもうひとつのメッセージに、メンバーから奨学金制度を実施してはどうかという意見が上がり、今後カンボジア側と調整の上、小指会の新しいプロジェクトとして取り組むことになりました。

3月16日から小指会の有志でSen Sok中学校を訪問し、生徒の家にホームステイするなど交流を予定しています。自分たちと全く違うカンボジアの生活に触れ、また現地の教育の現状を自分達の目で見ることで、新しい発見と動きがあるかもしれません。

今回、小指会で頑張った生徒に5万円(5名限定)で参加できるように助成する予定です。この人材育成事業に賛同し協力したいと思われた方は、募金での協力もできます。郵便振替口座に「小指会ツアーア助成費」と書いてお振入ください。ひょっとすると、5名の枠が増やせるかも…

**「セカンドハンド」**は、皆様からいただいた品物を販売し、収益金すべてを援助にあてる国際協力団体です。主にカンボジアに小学校を建設など、教育支援、自立支援をおこなっています。チャリティーチョップや支部は無償で働くボランティアスタッフが支えています。店舗や倉庫は無料または格安でお借りするなど、皆様のあらゆる協力の上で成り立っています。「一人一人の力は小さくても、集まれば大きな力となる」セカンドハンドのモットーです。あなたも世界の誰かのために、ボランティアしてみませんか？

商品提供やご寄付など、支援して下さった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

# 中越地震、香川県水害募金を行っています。

店頭やイベント会場に募金箱を設置し、募金を呼び掛けています。ご協力よろしくお願ひします。

郵便振替での寄付も可能です。同封の振替用紙を御利用の場合は緊急支援に印をつけてください。「中越地震」「水害募金」いずれか指定があれば御記入ください。

郵便振替口座 <口座番号>01620-6-60029  
<加入者名>NPO法人セカンドハンド



## 入院施設、1月中に完成!

カンボジアの首都にあるポチエントン空港から市内に向かう道の途中、左手に建設中の医療施設があります。ヘルスセンターと呼ばれるこの施設は、周辺の貧しい人が気軽に診察を受けられるよう設置されたもので、出産できる施設でもあります。本当に貧しいと認定された場合には無料で治療を受けられるようになっており、多くの人々に愛用されています。

カンボジアの全人口は約1,200万人ですが、その1割以上の約130万人がプノンペン在住と言われています。仕事を求めて多くの人が出稼ぎに出でますが、家を借りるお金がなく、路上で生活する人も少なくありません。しかしながら、出産する女性の数は増加しており、ヘルスセンターだけでも、04年10月の1ヶ月間に約100名が出産したそうです。

ここに、入院施設となる1棟(10室)の建設を行っています。04年10月に着工し、05年1月には完成する予定です。これまで1室(ベッド2台)であったため、



周辺住民、妊婦さん、スタッフ、皆が待ち望んでいるセンターが間もなく完成!建設費は約320万円

### 出産直後の

赤ちゃんを廊下で寝かせることもあったそうですが、これで状況が改善されます。

3月のスタディーツアーで完成した病室を視察します。窓を大きめにとった明るい部屋にはきっとお母さんの笑顔と赤ちゃんのかわいい寝顔が並んでいることでしょう。



香川県内の医師(平田氏)から提供された医療器具を届けました。

✉ セカンドハンドの皆様の働きにいつも素晴らしい事と感心致しております。次期の計画が成功しますようにお祈りします。  
(徳島県 匿名希望の方)

# サクリエム小学校の新校舎建設支援に 引き続きご協力ください！

前号でもお知らせしましたが、セカンドハンドとして12校目の支援校はコンポン・トム州・サクリエム村のサクリエム小学校に決まりました。

この村一帯は1995年にやっと戦闘が収まった地域で、それまでこの学校は戦闘時に校舎を破壊されたり、軍の拠点になるなどで、閉・開校を繰り返していました。現在は萱葺きで、砂糖椰子の葉などを壁に使った簡易校舎（全4教室）を使っていますが、強風や大雨の際に授業を中断せざるを得ない状況です。こうした劣悪な環境で、教員も赴任したがらず、教員不足が児童の中退を招いています。

また、最近の調査で校庭に地雷と不発弾が埋まっていることが分かりました。この地域には地雷が多く、調査以前から子ども達には草むらに入ったり校庭で遊ばないよう指導していたため、被害はありませんでしたが、関係者一同その存在が明らかになり、ぞつとした次第です。3月着工を目標としており、それまでに地雷は除去されますが、建設費470万円の目標額にはまだまだという状況です。

安心して授業が受けられる環境が早く整うよう、引き続きご協力をお願いします。募金でのご協力の際には「小学校建設」とご指定ください。

また、直接の募金以外にも、セカンドハンドで商品を買っていただいたり、募金箱を設置していくなど、いろいろな方法があります。



ボロボロの校舎で授業を受ける生徒たち。  
屋根の痛みも激しく危険な状態。



E-mail:2nd-hand@eskimo.com

FAX

■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込みいただけます。

fax:087-861-9928

## ●チャリティーCD「少しだけ」(全6曲) ¥1,500

セカンドハンドに出逢ってできた素敵なおレオンさんのやさしさ溢れる唄声とメロディー。「今までより、少しだけ…頑張ってみようかな」という気持ちにさせてくれるCDです。  
〈販売レコード店〉タマル本店、エル、ゼルbyタマル高松店、タマル太田店、ゼルbyタマル丸亀店、VOICE

## ●オリジナルポストカード (7枚組) ¥500

これまでのセカンドハンドのスタディーツアー秘蔵写真の中から選びました。ハガキの表には、セカンドハンドからのメッセージも入っています。セカンドハンドをもっとたくさんの方に知っていただくために、是非使ってください。



## ●募金箱 無料

ご家庭、教室、職場、どこに置いててもOK!  
なお、募金箱は再利用してくださいね。

## ●スタディーツアーレポート書



1999年報告書 ¥300  
2002年報告書 ¥500

スタディーツアーレポート書を冊子にまとめたものです。参加者一人一人の報告書も入っています。

## ●ニュースレターバックナンバー

38号まで全セットで ¥3,000(送料込)  
(1部は¥100)

〈郵送での購入をご希望の場合〉

郵便振替口座に「CD希望」「ポストカード希望」「募金箱希望」「カンボジア商品希望」など明記し、住所、氏名、希望枚数を御記入の上、商品代金に下記の送料を加えてご入金下さい。

送料：CD、書籍類 200円 ポストカード 90円

募金箱 160円 カンボジア商品など1箱 500円

※合計1万円以上お買上げの場合、送料無料

[郵便振替口座]

口座番号 01620-6-60029

加入者名 NPO法人セカンドハンド

✉ いつも応援しています。頑張ってください! (高松市 兼金様)



# 新春 現地レポート

カンボジア南東部スヴァイリエン州職業訓練プロジェクトで、指導者として働く6名の女性たちに会ってきました！  
彼女たちの“いま”をお伝えします。



## テリー (25歳)

家族 母親、兄（隣に住んでいる）  
(父脳卒中で死亡)

### ○職業訓練を受ける以前の状況

ガソリンスタンドに勤務。月給は50ドルで、休暇、休憩なしの働き通し。父が死亡したことを見たきっかけで元へ戻る。が、村には仕事がない、母親がお菓子を作り市場で売り、家族の生計を支えていた。この頃の収入は\$15～\$20。時々、近くに住む兄からお米をもらうなどして生活を支えてもらっていた。

### ○現在は？

仕事がある。収入を得るために技術が身に付き、家族を支えるためのお金ができる。食事、衣服やアクセサリーも買える。高血圧の母親が病院に行き、薬を買うこともできる。人を指導する知識が身に付いたと思う。

### ○このプロジェクトについて

スヴァイリエンはNGOがほとんどなく、貧しくてもあまり支援を受けることができなかった。しかし、セカンドハンドのプロジェクトが貧しい家庭を支えるしくみを作ってくれた。貧しい人たちが無料で技術を身につけられるこのプロジェクトは、スヴァイリエンにとって必要なプロジェクト。

### ○夢は？

いい先生になってプロジェクトを成功させ、スヴァイリエンから貧困をなくしたい。商品がたくさん売れて、豊かな暮らしができることを夢見ている。

### ○メッセージ

品質向上につとめ、日本でよく売れる製品を作るよう一生懸命努力するので、どんどんマーケットを広げてほしい。ボランティアスタッフの皆さんや支援者の方々をこちらにお招きしたい。

#### ～プロジェクト担当者より～

ガソリンスタンドはイギリス人オーナーだったため、英語が話せるというテリー。面接の時には一番積極的でした。会計担当で、エクセルも勉強しました。会計書類などは現在、他でコンピューターを借りて作成しているそうですが、近々送ってあげたいと思う頑張りぶりです。日本語も少し勉強しています。



自宅でのインタビュー風景



## ディナ (25歳)

家族 父（警察官）49歳、母（村長）47歳、弟（別に暮らしている）22歳、妹23歳

### ○職業訓練を受けて変わったことは？

生活がすいぶん楽になった。自分が家計を支えることができるし、自分自身のためにも使うことができるようになった。縫製技術を身につけることで、自分に自信がもてるようになった。この技術は、生涯自分の生活をサポートすることになると思う。

### ○もし、日本に行くチャンスができたら学びたいことは？

セカンドハンドの活動やカンボジアと日本の違い。日本の縫製技術についても知りたいし、商品の並べ方など、どうやって販売しているのか見てみたい。自分の目で実際に文化や日常生活を見てみたい。

### ○メッセージ

オーダーが少ないので、もっと商品を注文してください。注文がたくさんくるように、いいものを作りたい。この仕事も教えることも大好き。今のメンバーと一緒にずっと働きたい。

### ○ディナのお母さんより

生きていくための技術もなく、健康状態もあまりよくなかったので、ディナの仕がないことを心配していた。ディナが技術を身につけ、自分で生きて行けるようになつたことは、母として胸が熱くなるほど嬉しい。今年、ブンセンで交通事故に遭った時に、3ヵ月ほど入院。その時にディナが医療費用の援助をしてくれ、とても助かった。

#### \*\*\*\*両親からのメッセージ\*\*\*\*

日本の皆さん、セカンドハンドの皆さんに心から感謝します。セカンドハンドの活動は学校、センターを建設するだけでなく、その後のフォローアップをしているところが素晴らしい。日々の生活をこうやって見に来てくれる事は素晴らしいと思うし、嬉しいです。

#### ～プロジェクト担当者より～

ディナは、母親から遠く離れてバタンバンで訓練を受けるということで「お母さんと離れない」と一晩泣き明かしたそうです。母親が将来を考え、技術を身につけるために行きなさい」と説得。翌日、契約のために自宅を訪問した時、恥ずかしそうに母親の影に隠れていたディナが指導者として立派に教えている姿を見た時にはさすがに目頭が熱くなりました。6人の中でも一番先生らしい雰囲気を持つ、しっかり者。25歳になった今もお母さんっ子だけ…

セカンドハンドがカンボジア南東部スヴァイリエン州で実施している職業訓練プロジェクト。ここでは1年間訓練を受けた地元の女性たち6名が指導者として働いています。このプロジェクトは、スタディーツアーで訪問した際、女性たちに仕事がないため人身売買の被害にあっているという話を聞いたことをきっかけに始まりました。スヴァイリエンには産業はありません。カンボジア全体の出稼ぎ労働者のうち40%はスヴァイリエン出身と言われています。

ここで皆さんからの支援をもとに職業訓練、現金収入となるクラフト品製作の仕事の提供を行っています。今号ではテリー、ロター、ディナの3名を紹介します。



## ★スヴァイリエン発 ちょっとうれしいニュース①★

なんと指導者の一人として頑張っているヴァナさんが、来年のクメール正月までに、結婚する予定だそうです。お相手は同じセンター内のサンテセナでスタッフをしていた男性、イム・トゥーンさん（25歳）。2002年、センターがオープンした時に出会い、交際を続けていたそうです。セカンドハンドの皆さんにも可能であれば結婚式に来てもらいたいので、招待状を送りますとのことです。ヴァナさん、イムさん、本当におめでとうございます。



## ロター (35歳)

家族 父72歳、母66歳、妹（病気で退学し自宅にいる）、子ども2人（娘10歳、12歳）  
(12歳の娘は亡くなったご主人の母親の元で育てられている)  
1994年頃、兵士だったご主人が赴任先でマラリアにより死亡。二人目の子供を妊娠中の出来事だった。

### ○職業訓練を受ける以前の状況

家族で帽子づくりの仕事をしていた。帽子ひとつ約6円。一日中縫うと50個程度でていた。11歳の時からミシンの仕事をはじめて、ブンセンの縫製工場でも3年間働いたことがある。

### ○現在は？

生活は楽になった。しかし、生計を支えているのはロターの収入のみ。家族はロターの収入でガソリンを買い、自宅前で販売したり、サトウキビを仕入れてジュースを売っているが、わずかな収入でしかない。

### ○日本に行きたい？

もし行けたら、クラフト品、ビジネスや文化、人々の生活、お店などを見てまわりたい。日本とカンボジアのミシンの技術の違いを知りたい。

### ○夢は？

センターが発展したら、働くスタッフがみんな幸せになれるし、収入も増える。マーケットも広がれば、スヴァイリエンにも仕事が増えるようになる。そうすれば貧困をなくすことができるようになる。

### ○メッセージ

ボランティア、そして支援者の皆さんに大変感謝しています。セカンドハンドを支援して下さっている皆さんはカンボジアを支援して下さっている皆様です。ぜひカンボジアにもいらして下さい。カンボジア発展のために私たちに知恵を貸して下さい。また、私たちの事業が成功するように、クラフト品向上のためのアドバイスをお願いします。



自宅前のさとうきびジュースの屋台



■このコーナーのグッズはメール、FAXでお申し込みいただけます。

E-mail:2nd-hand@eskimo.com

fax:087-861-9928

FAX

GOOD  
GOODS

## カンボジア自立支援につながるフェアトレード商品

SECOND  
HAND  
fair trade



### 着物バッグ

和風のデザインを取り入れたセカンドハンドオーリジナルレバッジ。  
仕切りやチャックも付いて使いやすいです。

柄物を着ない  
私にとって着物バッグは  
ちょうど良いアクセントに  
なります  
(ボランティアスタッフ  
仙波さん)



(1089) ¥2,500

サイズ:19cm(高さ)×25cm(横)×7cm(底)

色:緑、青、紫、ピンク、  
黄色、ベージュ

柄:ストライプ、クメール模様

素材:クメールシルク

\*色、柄についてはお問合せください



### 銀製にわとりの置物

上下に開くようになっており、香合として使うこともできます。  
手作りのため、大きさ、形が少しずつ違います。

にわとり小(3073)  
¥1,650

サイズ:高さ4.5cm/長さ6cm/幅3cm

にわとり大(3074)  
¥2,000

サイズ:高さ6cm/長さ9cm/幅4.5cm

色:シルバーのみ

\*数量限定商品。お早めにお求め下さい。

4ヶタの商品番号で御注文下さい。 申し込み方法はp.3にあります。



## 片原町商店街でクリスマスイベント開催! ♪♪

12/23~25、高松市中心部の片原町商店街でチャリティーイベントを開催しました。セカンドハンド片原町店の向かいに設置されたステージでは、カナダやイギリス、日本などの学生がダンスで世界平和についてのメッセージを伝えるダンスワークショップ、ちびっこから大人まで幅広い年代で構成するグルッペルミネによるクリスマスソング、セカン

ドハンドのテーマソングを唄う「レオン」さん、ゴスペル、ストリートミュージシャン、讃岐国分寺太鼓など多くの出演者に盛り上げていただきました!

高松片原町西部商店街振興組合、(株)ヤマハミュージック神戸高松店、出演してくださった皆様はじめ、このイベントに御協力いただいたの方々に深くお礼申し上げます。



## SPECIAL THANKS <敬称略>

【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、弘陽商会(朝日新町)、金丸水産・中村(瀬戸内町)、富井(満濃町)【出店協力】エースファンサンポート高松店、燐、【ニュースレター発送協力】古高松中学校、その他多くの方々【寄付】香川/庵治中学校吹奏楽部、荒井俊雄、池田ヨ一ガ道友会・中野律子、入江治子、浮田清市、岡野道子、倉田眉貴子、桜町中学校、大同ガス産業(株)、高松工芸高校インター部、高松大学・高松短期大学、高松中央高校生徒会、高松中央高校家庭クラブ、高松北高校家政部、(有)田中工務店、対馬恭三、新田整形外科、初瀬勝彦、林田物流(株)・塩田学、原英子、飯山高校生徒会、古高松中学校、三井貞博、三木佑二郎、三谷範至、矢川房子、山下真理子、山田美智子、渡辺さと子、岩手/佐藤祥子、大阪/海田周治、堀良子、岡山/藤川幸恵、鹿児島/手束尚子、神奈川/アイスタッフ(株)、長山喜代子、ヒママコ、高知/久島茂子、埼玉/高倉恒三、東京/アシザワ・ファインテック(株)、アルティオーラ・システム(株)、スティングハイ2020(株)、(株)グリッドマーク、(株)けあミックス、三略会、(株)ジエイエムシー、(株)ジェードット、シトリックス・システムズ・ジャパン(株)、新日本アーンスト アント ヤング(株)、(株)ティービー、データリンク(株)、中西克江、日本通信ネットワーク(株)、ノードソン(株)、(株)ハーフタイム、阪神エアカーゴ(株)、(株)ビットアイル、ふそう陸送(株)、(株)HoKコンサルタント、スマステリアル(株)、末悠征(株)、ユーリードシステムズ(株)、ユニファイジャパン(株)、長野/北山直子、奈良/玉置麗子、福岡/古賀邦雄、【その他】大山牧場、香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、セカンドフト、天勝(丸亀)、錦郵便局、豊南会香川井下病院・平田陽一、(有)舞台美学、ホテルジャパン【印刷協力】アイニチ(株)

✉ お仕事ご苦労様です。お手伝いができないので募金を送らせていただきます。(倉敷市 楢原様)



# 各店・支部便り

セカンドハンドの輪を広げよう!  
支部募集中!

## 川口支部



11月7日(日)  
毎年恒例の、荒川ふれあい祭り  
のボランティアブースに出店しま  
した。当日はお天気にも恵まれ、  
たくさんの人出があり、スタッフ

5名で、楽しくチャリティーバザーを行うことができました。  
売上げは全部で、44,210円でした。ご協力ありがとうございました。

今年もできる範囲で支部としての活動をしていきたいと思つております。

よろしくお願ひ致します。



## 福岡店

### 10周年講演会開催

12月9日(木)に新田代表をお迎えして、セカンドハンドのこの10年の取り組みを聞きました。

福岡支部では、設立当初のスタッフから新人の大学生まで様々なメンバーが活動していますが、距離が遠いこともあり、今まで本部スタッフのお話を直接聞く機会にはあまり恵まれていませんでした。今回、セカンドハンドの活動状況、方針などを改めて確認することができ、今後の店舗運営の活力となりました。意見交換も積極的に行い、実り多い一日でした。

(報告:木村理恵)

## 北海道支部

### 10周年記念講演会開催!

10月17日(日)札幌で講演会、18日は北海道大学でミニ講演会を開催しました。

北海道支部の活動に協力してくださっている方々をはじめ、初めてセカンドハンドの存在を知ってくださった方にもご来場いただきました。

新田代表がセカンドハンドを始めたきっかけからはじまり、カンボジアの人々の生活の様子など熱心に聞き入っていました。何か自分も役に立てればと思ってくださる方が多く、「北海道にはチャリティーショップはないのですか?」と尋ねられることも…。現在、北海道支部にチャリティーショップはなくイベントなどに参加し活動していますが、「こういうことなら協力できる。」というようなことがあれば是非ご提案ください!北海道支部としても、セカンドハンドの輪を少しずつでも広げていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いします。



### 5月にチャリティーバザーを開催します!

前日までの準備や当日、多くの人手が必要です。  
札幌に知り合いのいる方、ぜひ声をかけてください。  
御協力お願いします。

内容:国際協力チャリティバザー&パネル展示

日時:5/20(金)~5/22(日) 10:00~19:00

場所:札幌駅南口広場地下街アピア

ライラックホール



### ● 事務局スタッフ着任のごあいさつ ●

初めまして!11月1日より事務局スタッフとして皆様と一緒に活動をさせて頂くことになりました、舛井健太郎です。生まれは広島、育ちも広島です。高校卒業後、勢い余ってイギリスの大学に進学、昨年の夏に帰国して参りました。子どものころから国際協力に携わる仕事がしたいと思っており、帰国後もその思いは日に日に強くなりました。そんな折に、セカンドハンドがチャリティーショップを運営して、カンボジアの支援を行っているということを知り、経済的に恵まれない人々の自立に自分も少しでも役に立ちたい、という思いでセカンドハンドで働かせて頂くことになりました。ボランティアの方々を始め、協力して下さる全ての方と力を合わせてカンボジア支援の為に尽力していきます。皆様に助けられながら共に成長していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

# information

## 集めています!

- ◎書き損じハガキ  
(未投函の官製ハガキ)
- ◎未使用的商品券などの金券
- ◎使用済み切手  
破損のない切手を周囲5mm程度残して切取る。  
詳細を送ります。  
本部にご連絡ください。

## 品物提供の受け付け

食器、日用品など季節のないものは常時OK  
新品または新品に近いものをお願いします。

春物 3/1～5/15

\*冬物は終了しました。  
(在庫過多のため12/10で締切させて  
いただきました。御注意を!)

商品を郵送する場合には、  
高松店にお願いします。

## ニュースレター 発送作業

次回は4/17(日)です。  
参加可能な方は、  
本部までご連絡ください。

## 今年初 チャリティーバザー開催!

衣類、食器、雑貨、など多数出店。  
今回は、和服あります!  
日時:1月7日(金)～10日(祝)  
10:00～18:00  
場所:丸亀町第2レツツ  
(丸亀町商店街、ヤマハの向かい)  
★ボランティアも募集しています!★

収支報告書は毎月セカンドハンド店頭で掲示しています。

## ボランティア募集!

- お店番  
レジや店内作業など
- 運搬←特に不足しています!  
荷物の運搬、車の運転など
- 倉庫作業  
仕分け作業など

## セカンドハンド通信を ネットでGET!

ホームページからダウンロード  
可能な方、郵送は必要ないという方は  
2nd-hand@eskimo.comに  
ご一報ください。  
発行のお知らせを  
メール配信いたします。

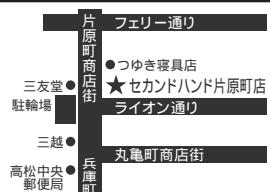
## 高松店

高松店 1F  
セカンドハンド本部 3F  
〒760-0055  
高松市観光通1-1-18  
TEL: 087-861-9928  
営業時間:  
10:00～19:00



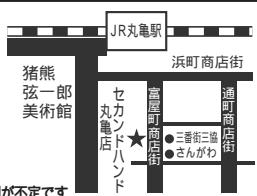
## 片原町店

セカンドハンド片原町店  
〒760-0040  
高松市片原町9-1  
TEL: 087-822-3552  
営業時間:  
10:00～19:00



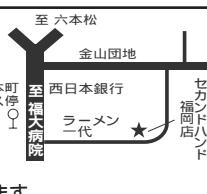
## 丸亀店

セカンドハンド丸亀店  
〒763-0021  
丸亀市富屋町30-1  
TEL: 0877-25-2876  
営業時間:  
火・水 11:00～13:00  
木 11:00～16:00  
ボランティアスタッフ不足のため営業時間が不定です



## 福岡店

セカンドハンド福岡店  
〒814-0131  
福岡市城南区松山2-7-15  
TEL/FAX: 092-871-5760  
(E-mail) r-kimura@highway.ne.jp  
営業時間: 月・木 11:00～15:00  
1月は13日(木)からの営業になります。



## 支 部

セカンドハンド川口支部  
責任者 早船 森田 090-4169-9940  
(E-mail) tsubasa@i-staff.co.jp  
ホームページ <http://www.i-staff.co.jp/2nd-hand/>

## 部

セカンドハンド大阪支部  
徳 090-6241-3768  
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

セカンドハンド北海道支部  
大波 Tel:090-2695-9390 Fax:011-785-2311  
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

## 倉 庫

- ・朝日新町
- ・瀬戸内町
- ・満濃町

商品を郵送する場合には、  
高松店にお願いします。

このニュースレターは3ヶ月に一度5500部発行しています。

封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4200部を全国の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込み下さい。